

2025年4月18日(金)9:00からCRTスタジオで収録

ゴールデンウィーク(GW)中の効果の上がる学習方法を考える

ー計画的に楽しく過ごしましょうー

開倫塾
塾長 林明夫

Q: いよいよGWが始まります。GW中の効果の上がる学習方法をお話ください。

A: (1) 学校や大学で学んでいる皆様は、まとめて10連休という人は少ないと思いますが、5月の3・4・5・6日は4連休なので嬉しいと思います。せっかくのGWなので、計画的にお過ごしになることをおすすめします。



(2) GWが終わると、5月・6月には定期試験がある学校が多いと思います。1学期の定期試験でよい点数を取りたい科目がいくつかあれば、その何科目かを集中的に勉強することをおすすめします。

(3) 学校の教科書、問題集をスミからスミまで何回も勉強し、全部覚え、過去に出た問題の何年分かを5~6回やり直すと、誰でも、その教科は100点満点が取れます。「学んだことを自分のことばでいえる(表現・説明できる)」「深い理解」を目指してくださいね。

Q: 定期試験の勉強もよいのですが、せっかくのGWなので、何かまとめて勉強したいです。よい勉強の仕方がありますか。

A: (1) 新学年になり、学んでいる教科で興味のある内容があったら、その内容について、何冊か本を読んでみることをおすすめします。

(2) 例えば、世界史の勉強をしていて、チンギスカンに興味を持ったら、井上靖の「蒼き狼」という歴史小説を、「歴史地図帳」と「年表」を片手に、読むことをおすすめします。

(3) 読み終わったら、中公文庫などの「世界の歴史」シリーズで、「宋・元」が取り上げられている巻を、「歴史地図帳」と「年表」を片手に、じっくり読んでみる。

(4) 日本史の好きな人は、学校の授業に合わせて、中公文庫などの「日本の歴史」シリーズを、「歴史地図帳」と「年表」を片手に、一巻ずつ、ゆっくり、先生の授業を聞くようなつもりで、一語一語ていねいに読んでみることをおすすめします。

○そして、折に触れ、学校の「歴史教科書」を読んでみると、驚くほど、教科書の一行一行の深い意味がわかってきます。ぞくぞくするほど、学校の「歴史教科書」が、身近に感じられます。

(5) 文庫本や単行本を読むのが少し大変なら、小学館や学研、集英社、中央公論新社などの「マンガ世界史」シリーズや、「マンガ日本史」シリーズを、学校の授業の予習や復習として読むこともおすすめします。



(6) 中学生や高校生で、「公民」や「公共」「倫理」「政治経済」が好きなら、山ほど出ている新書や文庫がおすすめです。少し大きめの書店や古書店、図書館に出かけ、2～3時間かけ、じっくり本を選び、読んでみる。中学生は高校生の本を、高校生は大学生や大学院生、社会人の本に挑戦するのも、一興です。

(7) 例えば、中学3年生の「公民」で「人権」や「憲法」を学び、「日本国憲法」に興味を持ったなら、高校生用の教科書（もう一度学ぶ高校政治経済）や参考書、大学生用の「憲法」や「日本国憲法」の「やさしめの教科書」を読んでみる。

(8) 理科や数学の好きな人は、講談社の「ブルーボックス」という新書本がおすすめです。岩波ジュニア新書もあります。書店や古書店、図書館でこれらのコーナーを見つけ、興味のある本を選ぶことをおすすめします。

(9) せっかくのGWです。音楽の好きな人は、「コンサート」に。美術の好きな人は「美術館」に。スポーツの好きな人は「スポーツ観戦」に。

(10) 今週の水曜日（4月16日）は、東京ドームでの巨人・DNA戦のチケットを頂いたので、久しぶりにプロ野球を見せていただきました。その日は、ジャイアンツの岡本選手が連続ホームランを打ち、5対0で勝ちびっくりしました。

翌日、4月17日の試合は、反対に、DNAが圧勝したようです。
プロ野球選手の守備の上手さには感動しました。



Q：最後に一言どうぞ。

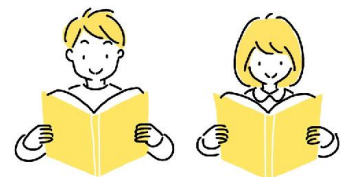
A：(1) GWの時期は、一年で最も気持ちのよい時期です。山々が、萌黄色（もえぎいろ）に一斉に変化する、最も美しい季節でもあります。

(2) 家の中で過ごすのもよいですが、近くの公園や山に出掛け、自然と触れ合うのもよい気分転換になります。

(3) GW中は、一日一回は外に出て、体を動かし、自然と親しむ。よい運動にもなりますし、免疫力も高まります。

< GW中には読書を！！ >

○学校の教科書に出ている本が読みたくなったら、例えば、国語の教科書で取り上げられている、夏目漱石作の「坊ちゃん」に興味を持ったらどうするか。教科書に載っているのはごく一部だけなので、書店や古書店で「坊ちゃん」を購入、又、図書館で借りて、このGW中に、全部読んでしまう。



○スマホが好きで、手放せない人は、スマホをつくったアップル社の創業者、スティーブ・ジョブズの「伝記」を、是非、このGWにお読みください。

○「伝記」で面白いのは、江戸時代の末期に栃木県を中心に、茨城県や福島県で大活躍し、日光の今市で亡くなった「二宮尊徳（二宮金次郎）」、慶應義塾をつくった「福沢諭吉」、1万円札の顔にもなった「渋沢栄一」の伝記です。是非、このGW中に読んでしましましょう。

○読みかけの本は、このGW中に、最後まで読んでしましましょう。

2025年4月18日（金）8時00分